

令和5年度 公民科 「公共」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1 学年 A～H組
教科書	実教 公共704『公共』	副教材等	プリント

1 学習の到達目標

- 1 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 3 よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部 公共の扉	1 民主政治の成立	・近代の市民革命によって政治のあり方がどのように変化したのか理解する。 ・民主政治の誕生と発展について理解する。 ・法の支配の考え方について理解する。 ・異なる個人の意見をどのように政治に反映させていけばよいのか考察する。 ・民主政治の意義と課題について理解する。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	ノート分析 授業への参加態度 定期考査
	5	第5章 民主国家における基本原理	2 民主政治の基本原則 3 民主政治のしくみと課題 4 世界の主な政治制度		
			中間考査		
	6	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち	1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本的性格 3 自由に生きる権利 4 平等に生きる権利	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障について理解を深める。 ・日本国憲法の基本原理について理解する。 ・憲法で保障されている自由権の内容について理解する。 ・平等に生きる権利が日本国憲法にどのように定められているのか理解する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。	ノート分析 授業への参加態度 定期考査
第2学期	7	第1章 日本国憲法の基本的性格			
			期末考査		
	9	第1章 日本国憲法の基本的性格	5 社会権と参政権・請求権 6 新しい人権 7 人権の広がりとは公共の福祉 8 平和主義とわが国の安全 9 こんにちの防衛問題	・日本国憲法は人間らしい生活の実現のためにどのような権利を保障しているのかについて考察する。 ・日本国憲法では明確に規定されていないさまざまな権利にはどのような種類があり、どのような必要性から主張されるようになったのかについて理解する。 ・人権と人権が衝突した場合、どのように調整すべきなのかについて考察する。 ・日米安保条約と自衛隊はどのような経過をたどって生まれたのか理解する。 ・こんにちの安全保障政策の種類について理解する。	ノート分析 授業への参加態度 定期考査
	10		中間考査		

	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	第1章 社会を作る私たち	1 青年期とは 2 自己形成の課題(1) 3 自己形成の課題(2) 4 職業生活と社会参加 5 伝統・文化と私たち	・人生における青年期の意義を理解する。 ・青年期の特徴について理解する。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・パーソナリティの理論を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。	ノート分析 授業への参加態度 定期考査
			期末考査		
第3学期	1	第2章 人間としてよく生きる	1 古代ギリシアの人間観 2 科学と人間 3 自由の実現 4 社会を作る人間	・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 ・近代ヨーロッパで生まれた、科学的思考が社会にどのような影響を与えたのか理解する。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・社会参画や公共性の確立について思索した思想家達の主張を理解する。	ノート分析 授業への参加態度 定期考査
	2				
	3				
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技術	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解すると共に、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明しようとするとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けようとしていると友に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して慣用される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。

4 評価の方法

定期考査および、小テスト、課題プリント、レポート、ノート、授業への参加の様子などを総合して評価します。 1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

政治とは、自分達の暮らしと社会の動きの根本を考えることです。言葉を覚えるだけでなく、民主政治を担う市民の一人として関心・疑問を是非もってください。また、日々のニュースを見聞きし、現実の社会の中でどのように政治が動いているかを主権者の一人としてとらえることが大切です。
